

2025（令和7）年度前期
教学改善のための授業評価アンケート
報告書

大阪成蹊大学

調査概要

授業評価アンケート結果

集計データ

調査票

調査概要

1) 調査目的

個々の授業に対して学生の率直な意見を聴取・理解し、学生にとって分かり易く、学修成果の得易い教育活動が行えるよう、授業の充実・改善、授業法の開発に資することを目的とする。

2) 調査項目

<一般科目>

- ・回答者の基本属性(学籍番号、所属学部、学年、性別、学生区分)
- ・「授業への学生の取り組み」に関する項目(5問)
- ・「授業内容と授業の進め方」に関する項目(15問)
- ・「教育環境」に関する項目(2問)
- ・「授業を通して得られたこと」に関する項目(8問)
- ・自由記述項目(2問)

<ピアノ科目>

- ・回答者の基本属性(学籍番号、所属学部)
- ・「授業への学生の取り組み」に関する項目(5問)
- ・「授業内容と授業の進め方」に関する項目(10問)
- ・「授業を通して得られたこと」に関する項目(8問)
- ・自由記述項目(2問)

3) 調査対象

本学の2025(R7)年度前期開講の全授業(※ピアノ科目以外の10名未満のクラス、および、13週目までに終了するクラスについては、担当教員の任意で実施)、およびこれらの授業を履修している全学生

4) 調査方法

2025(R7)年度前期より、従来の質問紙(マークシート)は廃止し、WEBアンケートシステムに1本化して調査を実施した。基本的な実施手順は、下記の通り。

- ①各授業の終了前15分程度を使用する。
- ②Google Classroomを通じてアンケートの回答URLを学生に伝える。または、回答URLの二次元コードをプロジェクターに投映するなどして学生にスマートフォンで読み取ってもらう。
- ③回答時間は、授業時間終了2分前までを目安とする。

5) 調査期間

2025(R7)年7月2日(水)～2025(R7)年7月22日(火)(※原則、授業の13週目に実施)

6) 調査主体

大阪成蹊大学

7) 調査実施率、有効回答率のまとめ

◆科目ベース

		対象科目数	実施科目数	調査実施率
配当 所属	経営学部	135科目	132科目	97.8%
	芸術学部	116科目	115科目	99.1%
	教育学部	255科目	253科目	99.2%
	国際観光学部	48科目	48科目	100.0%
	データサイエンス学部	33科目	33科目	100.0%
	看護学部	24科目	24科目	100.0%
	大学共通	305科目	304科目	99.7%
	教職課程	6科目	6科目	100.0%
	博物館学芸員課程	4科目	4科目	100.0%
2025(R7)前期 計		926科目	919科目	99.2%

◆学生ベース

		延べ履修者数	延べ有効回答者数	有効回答率
所属 学部	経営学部	11,227名	9,131名	81.3%
	芸術学部	8,369名	7,259名	86.7%
	教育学部	9,794名	8,613名	87.9%
	国際観光学部	3,142名	2,407名	76.6%
	データサイエンス学部	2,064名	2,044名	99.0%
	看護学部	2,536名	1,488名	58.7%
	(所属学部不明、その他、端数調整)	1,159名	16名	
2025(R7)前期 計		38,291名	30,958名	80.8%

※「延べ履修者数」は、学生1名が複数の調査対象科目に履修登録している場合、履修科目ごとに1名としてカウントした。

※「延べ有効回答者数」は、学生1名が調査期間中に複数の調査対象科目に出席し、且つ、アンケートに回答した場合、回答した科目ごとに1名としてカウントした。ただし、調査項目に1問も回答がない(回答者の基本属性を含む。自由記述は除く)ケースについては、無効回答として集計対象から除外した。

8) 調査結果の活用

アンケート結果はプロジェクトチームによって分析され、教学改革会議において報告された。また、授業ごとのアンケート結果は担当の教員に戻され、各教員はその結果を受けて授業実施報告書を作成した。

本学では、教学改革会議のプロジェクトチームが中心となり、各学部・学科、FD委員会、教務係などと連携しながら、授業評価アンケートの結果を授業改善へとつなげていく。

授業評価アンケート結果（一般科目）

◆経年比較

※履修者数10名未満の科目は除いている。

※昨年度までは30問中「1」または「5」の解答が29以上のケースは除いていたが、今年度は抜いていない。

※今年度は一部アンケートの質問文を変更している。変更点は報告書の最後に記載した。とくに I-5は選択肢を含めて大きく変更したため、比較の際は注意が必要である。

	2024年度前期		2024年度後期		2025年度前期	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
I. 授業への学生の取り組み						
I-1. この授業への出席(参加)状況	3.99	1.21	3.88	1.24	4.14	1.13
I-2. この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。	4.16	0.96	4.16	0.94	4.38	0.75
I-3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたり平均学習時間(授業時間を除く)	1.89	1.17	1.98	1.20	2.14	1.26
I-4. この授業の自分にとっての難易度	3.45	0.77	3.44	0.75	3.56	0.73
I-5. この授業のシラバス(授業計画)を見て、授業の流れや成績評価のポイントを判断するために活用した。	2.75	1.19	2.82	1.19	3.93	1.00
II-①. 授業内容と授業の進め方						
II-①-1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	4.13	0.95	4.13	0.93	4.25	0.89
II-①-2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	4.12	0.95	4.12	0.93	4.20	0.91
II-①-3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	4.16	0.93	4.16	0.91	4.24	0.89
II-①-4. 教員は学びを深める方法(授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など)を教えていた。	4.17	0.91	4.18	0.89	4.25	0.88
II-①-5. 教員は学生の授業参加(交流、ワーク、発表など)を促していた。	4.19	0.92	4.20	0.89	4.21	0.96
II-①-6. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック(対応・意見・評価など)をしていた。	4.22	0.90	4.23	0.87	4.28	0.89
II-①-7. 教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	4.27	0.83	4.27	0.83	4.32	0.83
II-①-8. テキストや授業資料は適切で分かりやすかった。	4.19	0.90	4.20	0.89	4.26	0.89
II-①-9-1. (講義・演習科目の場合)板書やスライド資料は適切で分かりやすかった。	4.21	0.89	4.21	0.88	4.28	0.87
II-①-9-2. (実技・実験・実習科目の場合)教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。						
II-①-10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	4.30	0.83	4.30	0.82	4.37	0.81
II-①-11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	4.35	0.80	4.34	0.80	4.43	0.78
II-①-12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	4.20	0.89	4.20	0.87	4.27	0.89
II-①-13. クラス全体が集中して学べるように教員が指導していた。	4.20	0.88	4.20	0.86	4.27	0.88
II-①-14. 教員はよりよい授業となるよう授業方法の改善に取り組んでいた。	4.21	0.88	4.22	0.86	4.29	0.86

(該当者のみ回答) II-①-15. 遠隔授業では教員は授業ツール(Classroom・Meet・Zoomなど)を適切に活用していた。	4.29	0.88	4.30	0.85	4.41	0.82
II-②. 教育環境						
(該当者のみ回答) II-②-1. 対面授業では適切なICT環境(Wi-Fi、PCなど)が整っていた。	4.30	0.89	4.29	0.88	4.34	0.90
(該当者のみ回答) II-②-2. 対面授業では適切な教室設備(空調、プロジェクター、机の配置など)が整っていた。	4.33	0.87	4.32	0.84	4.35	0.92
III. 授業を通して得られたこと						
III-1. この分野の専門的知識や技能が身についた。	4.25	0.82	4.26	0.80	4.33	0.79
III-2. 学習力や思考力が高まった。	4.22	0.84	4.23	0.82	4.30	0.83
III-3. 知的好奇心や探究心が高まった。	4.19	0.87	4.21	0.84	4.27	0.86
III-4. 考え方や社会的視野が広がった。	4.22	0.85	4.23	0.83	4.29	0.84
III-5. コミュニケーションする力(他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力)が高まった。	4.06	0.98	4.07	0.96	4.14	0.97
III-6. シラバスに明記されている本授業における到達目標(知識、技能、態度等)を達成できた。	4.10	0.87	4.13	0.84	4.18	0.85
III-7. これから生きていくうえで役立つと思う。	4.28	0.83	4.26	0.81	4.35	0.82
III-8. 全体として、この授業を受けて満足した。	4.27	0.86	4.26	0.85	4.35	0.84

直近2期と比較して、各質問項目の平均値は大きく上昇している。調査方法がWEBアンケートに変更になったこと、質問文が一部変更となったことが大きく影響していると考えられる。条件が大きく変わっているため、経年比較を行うことは難しいが、全体として大きな問題はないように思われる。特に、学生自身の主体的な取り組みが大きく上昇していることが注目される。出席状況はよくなり、また、「I-2. この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。」も大きく上がっている。教員の授業の工夫がよい影響を与えていると考えられる。全体としての満足度も4.35と高い。

なお、「I-5」のシラバスの活用については、これまで平均値が低く、シラバスが活用されていない可能性があることが課題となってきたが、質問文を学生にも意味がとりやすい適切な形に変更したところ、今回平均値が大きく改善した。「III-6」も上昇している。活用のためのプロジェクトによる様々な取り組みも、大きく改善に貢献していると考えられる。

◆条件ごとの「授業運営」尺度・「学修達成」尺度の得点の違い

アンケート項目のうちⅡ-①-1からⅡ-①-14までの平均を「授業運営」尺度とする。これは、教員の授業に対する工夫や熱意などを示す指標である。また、Ⅲ-1からⅢ-8までの平均を「学修達成」尺度とする。これは、学生が専門知識や思考力、コミュニケーション能力などを身につけたかどうかを示す指標である。

所属学部別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
経営	4.18	0.75	8684	4.16	0.76	9016
芸術	4.39	0.63	6938	4.38	0.63	7206
教育	4.36	0.76	7720	4.39	0.73	8031
国際観光	4.32	0.76	2272	4.29	0.80	2375
データサイエンス	4.13	0.68	1967	4.09	0.71	2021
看護	4.16	0.69	1409	4.16	0.69	1477
全体	4.29	0.73	29003	4.28	0.73	30142

授業形態別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
講義	4.18	0.75	15371	4.19	0.75	16106
演習	4.39	0.68	12906	4.37	0.69	13293
実技実験実習	4.64	0.55	726	4.64	0.55	743
全体	4.29	0.73	29003	4.28	0.73	30142

授業規模別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
小 (10～19)	4.43	0.68	1797	4.41	0.68	1842
中 (20～39)	4.41	0.69	9322	4.38	0.70	9569
大 (40～79)	4.31	0.73	6750	4.32	0.72	6905
特大 (80～)	4.14	0.74	11134	4.15	0.75	11826
全体	4.29	0.73	29003	4.28	0.73	30142

学年別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
1年生	4.38	0.67	11462	4.34	0.70	11933
2年生	4.21	0.76	7532	4.23	0.75	7839
3年生	4.24	0.74	6951	4.26	0.73	7218
4年生	4.21	0.80	2977	4.22	0.78	3067
5年生以上	4.46	0.76	81	4.44	0.74	85
全体	4.29	0.73	29003	4.28	0.73	30142

教員区分別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
専任	4.31	0.71	17851	4.30	0.72	18295
非常勤	4.25	0.75	11152	4.25	0.74	11847
全体	4.29	0.73	29003	4.28	0.73	30142

〈I-2 学生の熱心さ〉別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
1. そう思わない	2.27	1.19	140	2.10	1.14	147
2. あまりそう思わない	3.32	0.93	380	3.12	0.97	390
3. どちらともいえない	3.52	0.74	2671	3.49	0.74	2778
4. ややそう思う	4.06	0.60	10773	4.04	0.58	11196
5. そう思う	4.63	0.56	15006	4.64	0.54	15591
全体	4.29	0.73	29003	4.28	0.73	30142

〈I-4 学生が感じる授業の難易度〉別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
1. 簡単すぎた	3.79	1.23	175	3.73	1.32	178
2. やや簡単だった	4.05	0.86	707	4.07	0.86	745
3. 適切だった	4.38	0.69	13846	4.38	0.68	14314
4. やや難しかった	4.23	0.66	11353	4.22	0.66	11844
5. 難しすぎた	4.12	0.97	2891	4.09	0.99	3030
全体	4.29	0.73	29003	4.28	0.73	30142

〈I-5 学生のシラバス活用度〉別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
1. そう思わない	3.65	1.20	865	3.58	1.21	892
2. あまりそう思わない	3.80	0.84	1310	3.76	0.85	1375
3. どちらともいえない	3.88	0.77	6473	3.87	0.76	6735
4. ややそう思う	4.20	0.55	10705	4.20	0.55	11118
5. そう思う	4.78	0.44	9613	4.78	0.44	9981
全体	4.29	0.73	29003	4.28	0.73	30142

学部別では、「芸術」と「教育」と「国際観光」が比較的高い。2024年度後期と比べて各学部の傾向に変化はない。授業形態では、講義が低く、演習・実技実験が高いという傾向も変化はない。授業規模は履修者が少ないほど高くなり、学年は2年生が低くなるという傾向は例年通りであるが、4年生で授業運営・学修達成ともに上がらなくなっている点がやや例年と異なる。教員区分については、前期は非常勤と比べて専任が高くなりやすい傾向にあるが、この点についても例年を踏襲している。なお、これまでの傾向では、後期は専任と非常勤が同水準になりやすい。専任は年間を通して一定で、非常勤は前期にやや下がりやすい傾向があると考えられる。

今年度から、相関分析をやめ、学生の授業への取り組み状況別の、授業運営・学修達成の平均値を出している。授業に熱心に取り組む、シラバスを活用しているほど、授業運営や学修達成の平均値が高い。授業の難しさは適切であるほど高い。よい授業運営と学生の熱心な取り組みの結果、学修達成も得られている状況は、これまでと変わっていないと言えるだろう。

授業評価アンケート結果（ピアノ科目）

◆経年比較

	2024年度前期		2024年度後期		2025年度前期	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
I. 授業への学生の取り組み						
I-1. この授業への出席(参加)状況	4.13	1.10	4.17	1.04	4.34	0.97
I-2. この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。	4.58	0.86	4.44	0.93	4.74	0.52
I-3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたり平均学習時間(授業時間を除く)	2.32	1.18	2.21	1.16	2.48	1.22
I-4. この授業の自分にとっての難易度	3.34	0.62	3.38	0.70	3.44	0.66
I-5. この授業のシラバス(授業計画)を見て、授業の流れや成績評価のポイントを判断するために活用した。	2.41	1.17	2.50	1.23	4.05	0.96

Ⅱ. 授業内容と授業の進め方						
Ⅱ-1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	4.63	0.63	4.55	0.70	4.66	0.67
Ⅱ-2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	4.67	0.59	4.55	0.72	4.68	0.64
Ⅱ-3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	4.61	0.64	4.52	0.71	4.63	0.68
Ⅱ-4. 教員は学びを深める方法(授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など)を教えていた。	4.64	0.60	4.54	0.71	4.66	0.62
Ⅱ-5. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック(対応・意見・評価など)をしていた。	4.65	0.63	4.56	0.73	4.65	0.64
Ⅱ-6. 教員は各回の授業のテーマや目標、グレード全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	4.64	0.62	4.53	0.76	4.66	0.65
Ⅱ-7. 教員による実演の説明は分かりやすかった。	4.66	0.62	4.60	0.67	4.67	0.66
Ⅱ-8. 教員の授業に対する熱意を感じた。	4.71	0.55	4.61	0.67	4.70	0.62
(該当者のみ回答) Ⅱ-9. 対面授業では適切な教育設備(空調など)が整っていた。	4.55	0.79	4.45	0.79	4.43	0.89
(該当者のみ回答) Ⅱ-10. 遠隔授業では教員は授業ツール(Classroom・Meet・Zoomなど)を適切に活用していた。	4.55	0.74	4.41	0.84	-	-
Ⅲ. 授業を通して得られたこと						
Ⅲ-1. ピアノ技能が身についた。	4.69	0.51	4.58	0.70	4.65	0.59
Ⅲ-2. 楽曲の理解力が高まった。	4.59	0.61	4.51	0.72	4.63	0.60
Ⅲ-3. 音楽に関する知的好奇心や探究心が高まった。	4.52	0.68	4.46	0.77	4.57	0.67
Ⅲ-4. 音楽に関する考え方や社会的視野が広がった。	4.45	0.76	4.42	0.78	4.52	0.70
Ⅲ-5. 表現する力が高まった。	4.55	0.63	4.51	0.72	4.55	0.69
Ⅲ-6. シラバスに明記されている本授業における到達目標(知識、技能、態度等)を達成できた。	4.41	0.74	4.36	0.78	4.42	0.74
Ⅲ-7. これから生きていくうえで役立つと思う。	4.62	0.62	4.58	0.67	4.66	0.61
Ⅲ-8. 全体として、この授業を受けて満足した。	4.65	0.62	4.57	0.72	4.71	0.61

一般科目と同じく、直近2期と比較して、各質問項目の平均値は上昇傾向にある。特に、授業への学生自身の取り組みは高くなっている。「Ⅰ-2. この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。」は、4.44（2024年度後期）から4.74に上昇した。全体の授業満足度も4.71と非常に高くなっている。

「Ⅱ. 授業内容と授業の進め方」「Ⅲ. 授業を通して得られたこと」は、大きな変化はないが、昨年度前期と同様の高い水準にある。「Ⅱ-9. 対面授業では適切な教育設備（空調など）が整っていた。」のみ、微減しており、設備面には若干の課題があるかもしれない。

2025年度からの質問文・選択肢変更点

I 授業への学生の取り組み

【変更前】4. この授業の内容は私にとって

【変更後】4. この授業の自分にとっての難易度

【変更前】5. 私はこの授業のシラバスを活用した。

- ①全く活用しなかった ②あまり活用しなかった ③どちらともいえない
④活用した ⑤とても活用した

【変更後】5. この授業のシラバス（授業計画）を見て、授業の流れや成績評価のポイントを判断するために活用した。

- ①そう思わない ②あまりそう思わない ③どちらともいえない ④ややそう思う ⑤そう思う

II 授業内容と授業の進め方

【変更前】5. 教員は学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促していた。

【変更後】5. 教員は学生の授業参加（交流、ワーク、発表など）を促していた。

【変更前】9-1. 板書やスライド資料（パワーポイントなど）は適切で分かりやすかった。

【変更後】9-1. 板書やスライド資料は適切で分かりやすかった。

IV 自由記述

〈リード文〉

【変更前】この授業の良かった点、悪かった点、意見、改善点等を自由にお書きください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。

【変更後】この授業について、良かったところ、改善すべきところ等がありましたら、自由に入力してください。本学の授業改善の資料として活用します。なお、入力された内容は、担当教員も直接閲覧します。授業改善につながる建設的な意見を書くようにしてください。

〈記入欄〉

【変更前】 ※もとの質問紙ではリード文のあとすぐに4行の記入欄

【変更後】 ※記入欄を「授業」と「教室・設備」の2つにわけ

る。
※1つのページで、できれば入力欄が2つとも見えるようにする。

1. この授業のよかったところ、継続してほしいところ、改善・提案できるところがあれば記入してください。

自由記述： 記入欄

2. 教室や設備について要望があれば記入してください。

教室名： () 教室 (例：525教室, G11教室など)

自由記述： 記入欄

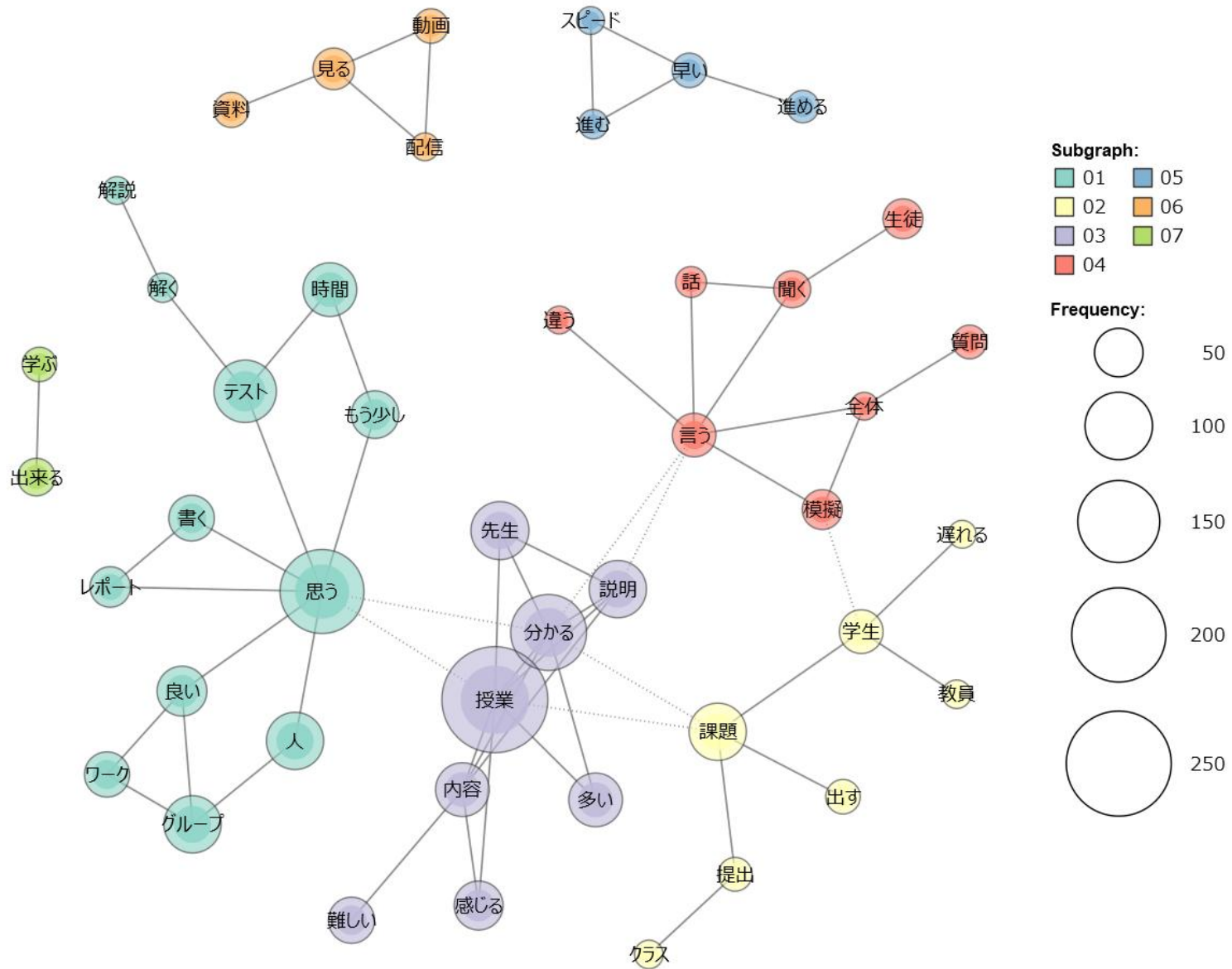
以上

【自由記述の分析】 ①授業に関する自由記述 ※ピアノ科目は除く

- ・授業ごとの授業満足度平均（平均：4.36，標準偏差：0.32）を用いて自由記述を3段階に分類している。

	全体	下位		中位		上位	
満足度	M=4.36	満足度平均 4.04 未満		満足度 4.04 以上 4.68 未満		満足度平均 4.68 以上	
授業数(有効)	871	97 (11.1%)		579 (66.5%)		188 (21.6%)	
コメント件数	3,275	478 (14.6%)		2,035 (62.1%)		762 (23.3%)	
		抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
		授業	255	授業	823	授業	324
		思う	158	思う	370	楽しい	179
		分かる	128	先生	290	先生	159
		テスト	85	良い	274	思う	147
		先生	73	分かる	267	良い	121
		グループ	71	楽しい	230	自分	113
		課題	71	説明	209	分かる	81
		人	71	自分	194	出来る	72
		説明	71	多い	173	学ぶ	71
		時間	62	内容	173	教える	71

【下位群の共起ネットワーク】



・「楽しい」が消え、「授業」と「分かる」の関連は残るが否定的なものが増える。内容が「難しい」も関連するようになる。試験の時間の不足、課題の不明確さ、授業のスピードが速いなどの意見がある。上位のコメントも加味すると、全体的にわかりやすく、丁寧に進めることが望まれているように思われる。

【自由記述の分析】 ②教室環境に関する自由記述 ※ピアノ科目も含む

・抽出語と出現回数（上位100位まで）

抽出語	出現回数
教室	382
暑い	309
効く	220
悪い	167
空調	156
300	155
クーラー	131
エアコン	127
体育館	104
授業	78
環境	66
冷房	61
522	60
出席	53
改善	52
思う	49
520	46
机	46
弱い	44
寒い	43

抽出語	出現回数
,Wi-Fi	42
電波	39
525	38
狭い	36
登録	36
401	33
設備	33
涼しい	32
集中	31
部屋	31
,WIFI	30
お願い	30
多い	30
良い	30
もう少し	29
席	29
538	25
Wi-Fi	25
WiFi	24
少し	24

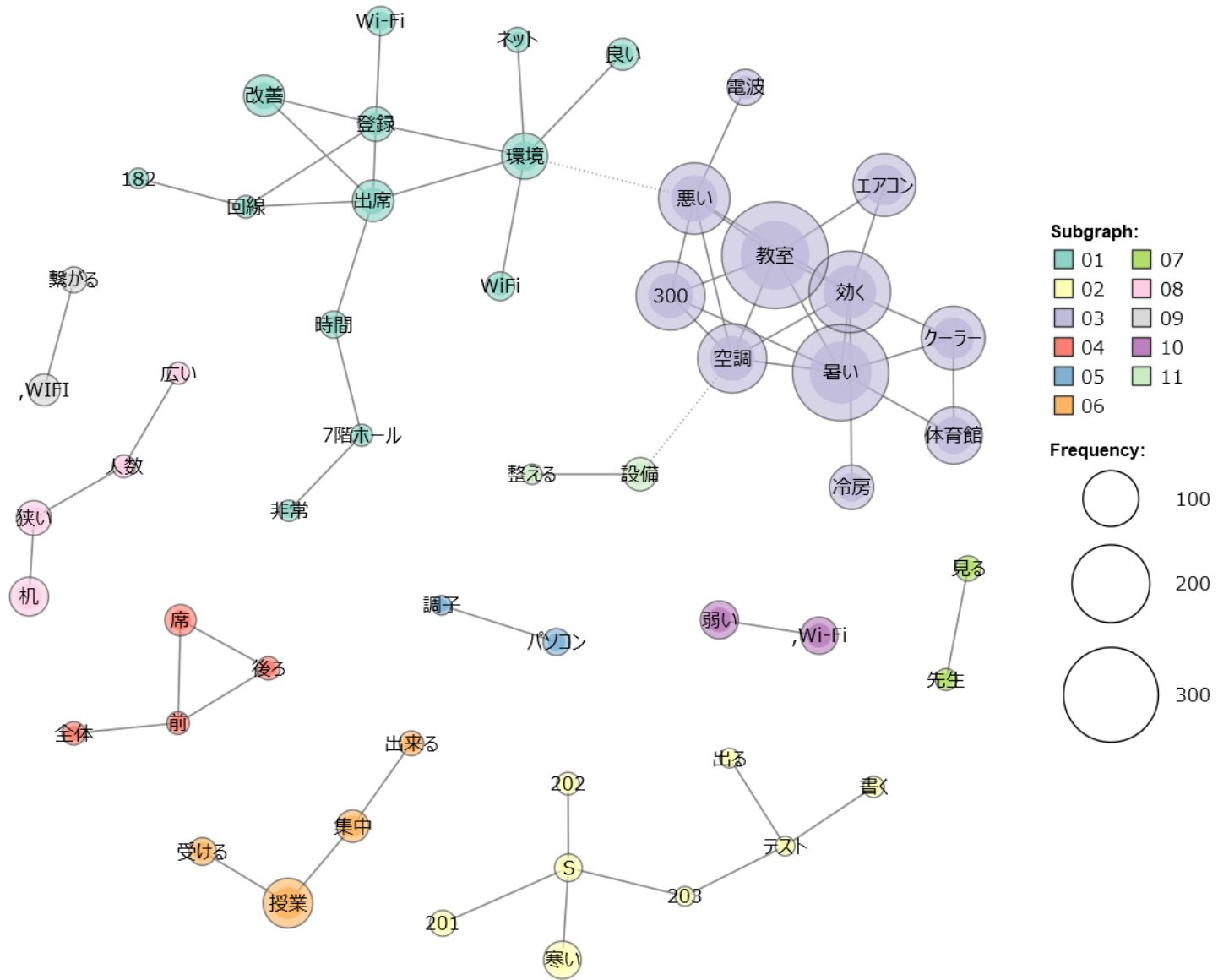
抽出語	出現回数
S	22
受ける	22
211	21
パソコン	21
時間	21
夏	20
強い	20
設置	20
全然	20
201	19
繋がる	19
感じる	18
見る	18
210	17
535	17
ネット	17
出来る	17
後ろ	15
使う	15
全体	15

抽出語	出現回数
欲しい	15
202	14
28	14
G32	14
椅子	14
回線	14
場所	14
人数	14
前	14
熱中	14
215	13
534	13
7階ホール	13
G41	13
雨漏り	13
広い	13
先生	13
遅い	13
通信	13
t17	12

※教室名は学生の記載をそのまま強制抽出に投入

※雨漏りは、体育館、A16、7階ホール

【教室環境の共起ネットワーク】



18

・北館（全体と特に 300 教室）と（第一）体育館が暑い。S201 など南館はききすぎて寒いこともあるようだ。大教室を中心に Wi-Fi 環境が悪く出席が取れない。全体的に机や教室が手狭である。少数であるのであがっていないが、ピアノの音を調律してほしい、電源が足りないとの意見もあった。

教学改善のための授業評価アンケート

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

このアンケートは、教学の改善充実を図ることを目的にしています。調査の回答内容が成績に影響することはありません。この科目のこれまでの授業を振り返り、該当する回答選択肢にマーク（数字を塗り潰し）してください。

学籍番号の記入は、提出の有無や提出間違いの確認のためであり、回答者を特定するためではありません。学籍番号の情報は担当教員には提供されません。

＜学籍番号＞（二重枠線内に学籍番号（数字7桁）を記入し、同じ番号の枠内をマークしてください。）

①	①	①	①	①	①	①	← 0
②	②	②	②	②	②	②	← 1
	③	③	③	③	③	③	← 2
	④	④	④	④	④	④	← 3
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	← 4
	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	← 5
	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	← 6
	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	← 7
	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	← 8
							← 9

【記入上の注意】

- ① 原則としてHB以上の鉛筆等を使用し、該当番号の枠内を濃く完全に塗り潰してください。
- ② 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
- ③ 回答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。

＜良い例＞ ● ＜悪い例＞ ○ ● ● ● ●

授業科目名	
教員名	
曜日・時限	曜 限

大学	① 経営学部 ② 芸術学部 ③ 教育学部 ④ 国際観光学部 ⑤ データサイエンス学部 ⑥ 看護学部
大学院	⑦ 教育学研究科
短大	⑧ 生活デザイン学科 ⑨ 調理・製菓学科 調理コース ⑩ 調理・製菓学科 製菓コース ⑪ 調理・製菓学科 フードコーディネートコース ⑫ 栄養学科 ⑬ 幼児教育学科 ⑭ 観光学科 ⑮ グローバルコミュニケーション学科 ⑯ 経営会計学科
学年	① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生 ④ 4年生 ⑤ 5年生以上
性別	① 男性 ② 女性 ③ その他（または答えたくない） 学生区分 ① 一般学生 ② 留学生

I 授業への学生の取り組み

1. この授業への出席（参加）状況	① 4回以上欠席（4回以上不参加） ② 3回欠席（3回不参加） ③ 2回欠席（2回不参加） ④ 1回欠席（1回不参加） ⑤ 全回出席（全回参加）
2. この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。	① そう思わない ② あまりそう思わない ③ どちらともいえない ④ ややそう思う ⑤ そう思う
3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間（授業時間を除く）	① 1時間未満 ② 1～2時間未満 ③ 2～3時間未満 ④ 3～4時間未満 ⑤ 4時間以上
4. この授業の内容は私にとって	① 簡単すぎた ② やや簡単だった ③ 適切だった ④ やや難しかった ⑤ 難しすぎた
5. 私はこの授業のシラバスを活用した。	① 全く活用しなかった ② あまり活用しなかった ③ どちらともいえない ④ 活用した ⑤ とても活用した

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

II-① 授業内容と授業の進め方

	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
4. 教員は学びを深める方法（授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など）を教えていた。	①	②	③	④	⑤

～裏面も回答してください～

II-① 授業内容と授業の進め方（続き）

	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
5. 教員は学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促していた。	①	②	③	④	⑤
6. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック（対応・意見・評価など）をしていた。	①	②	③	④	⑤
7. 教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
8. テキストや授業資料は適切で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
9-1.（講義・演習科目の場合）板書やスライド資料（パワーポイントなど）は適切で分かりやすかった。 9-2.（実技・実験・実習科目の場合）教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	①	②	③	④	⑤
11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	①	②	③	④	⑤
12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	①	②	③	④	⑤
13. クラス全体が集中して学べるように教員が指導していた。	①	②	③	④	⑤
14. 教員はよりよい授業となるよう授業方法の改善に取り組んでいた。	①	②	③	④	⑤
15. （該当者のみ回答） 遠隔授業では教員は授業ツール（Classroom・Meet・Zoomなど）を適切に活用していた。	①	②	③	④	⑤

II-② 教育環境

1. （該当者のみ回答） 対面授業では適切なICT環境（Wi-Fi、PCなど）が整っていた。	①	②	③	④	⑤
2. （該当者のみ回答） 対面授業では適切な教室環境（空調、プロジェクター、机の配置など）が整っていた。	①	②	③	④	⑤

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

III 授業を通して得られたこと

	そ う 思 わ ない	あ ま り そ う 思 わ ない	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. この分野の専門的知識や技能が身についた。	①	②	③	④	⑤
2. 学習力や思考力が高まった。	①	②	③	④	⑤
3. 知的好奇心や探究心が高まった。	①	②	③	④	⑤
4. 考え方や社会的視野が広がった。	①	②	③	④	⑤
5. コミュニケーションする力（他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力）が高まった。	①	②	③	④	⑤
6. シラバスに明記されている本授業における到達目標（知識、技能、態度等）を達成できた。	①	②	③	④	⑤
7. これから生きていくうえで役立つと思う。	①	②	③	④	⑤
8. 全体として、この授業を受けて満足した。	①	②	③	④	⑤

IV 自由記述（この授業の良かった点、悪かった点、意見、改善点等を自由にお書きください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。）

教学改善のための授業評価アンケート (ピアノ科目)

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

このアンケートは、教学の改善充実を図ることを目的にしています。調査の回答内容が成績に影響することはありません。この科目のこれまでの授業を振り返り、該当する回答選択肢にマーク（数字を塗り潰し）してください。

学籍番号の記入は、提出の有無や提出間違いの確認のためであり、回答者を特定するためではありません。学籍番号の情報は担当教員には提供されません。

<学籍番号> (二重枠線内に学籍番号(数字7桁)を記入し、同じ番号の枠内をマークしてください。)

[記入上の注意]

- ① 原則としてHB以上の鉛筆等を使用し、該当番号の枠内を濃く完全に塗り潰してください。
- ② 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
- ③ 回答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。

<良い例> ● <悪い例> ○ ● ● ● ●

①	①	①	①	①	①	①	← 0
②	②	②	②	②	②	②	← 1
	③	③	③	③	③	③	← 2
	④	④	④	④	④	④	← 3
	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	← 4
	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	← 5
	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	← 6
	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	← 7
	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	← 8
							← 9

授業科目名	
教員名	
曜日・時限	曜 限

大学	① 経営学部	② 芸術学部	③ 教育学部	④ 国際観光学部	⑤ データサイエンス学部	⑥ 看護学部
大学院	⑦ 教育学研究科					
短大	⑧ 生活デザイン学科	⑨ 調理・製菓学科 調理コース	⑩ 調理・製菓学科 製菓コース	⑪ 調理・製菓学科 フードコーディネートコース	⑫ 栄養学科	⑬ 幼児教育学科
	⑭ 観光学科	⑮ グローバルコミュニケーション学科	⑯ 経営会計学科			

I 授業への学生の取り組み

1. この授業への出席(参加)状況	① 4回以上欠席 (4回以上不参加)	② 3回欠席 (3回不参加)	③ 2回欠席 (2回不参加)
	④ 1回欠席 (1回不参加)	⑤ 全回出席 (全回参加)	
2. この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。	① そう思わない	② あまりそう思わない	③ どちらともいえない
	④ ややそう思う	⑤ そう思う	
3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたりの平均学習時間(授業時間を除く)	① 1時間未満	② 1~2時間未満	③ 2~3時間未満
	④ 3~4時間未満	⑤ 4時間以上	
4. この授業の内容は私にとって	① 簡単すぎた	② やや簡単だった	③ 適切だった
	④ やや難しかった	⑤ 難しすぎた	
5. 私はこの授業のシラバスを活用した。	① 全く活用しなかった	② あまり活用しなかった	③ どちらともいえない
	④ 活用した	⑤ とても活用した	

●以下の項目について、該当するものを選んでください。

II 授業内容と授業の進め方

	そう 思わ ない	あ ま り 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	①	②	③	④	⑤
2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤
4. 教員は学びを深める方法(授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など)を教えていた。	①	②	③	④	⑤
5. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック(対応・意見・評価など)をしていた。	①	②	③	④	⑤
6. 教員は各回の授業のテーマや目標、グレード全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	①	②	③	④	⑤

~裏面も回答してください~

